

資料-1

(KAP作成資料)

航空機騒音測定結果

上段:Lden(dB)
下段:WECPNL

場所	94	95	96	97	98	99	00	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	2023年度			環境基準		備考		
	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	4	5	6	地域 類型	基準値				
大阪市 住之江区南港北					41	41	41	39	39	38	40	38	37	40	40	36	34	35	36	26	25	24	26	26	25	21	13	18	18	18	18	20	17	II	62	75	常時 測定
貝塚市 二色3丁目	55	57	53	56	55	54	54	53	54	54	54	54	53	54	53	52	52	53	52	40	41	40	41	41	40	40	37	36	37	38	38	37	I	57	70		
泉大津市 汐見町	56	53	54	54	53	54	54	53	52	52	54	54	53	51	50	49	49	50	48	36	35	37	37	38	37	37	36	35	35	36	35	34	II	62	75		
泉佐野市 りんくう往来南	50	50	53	51	51	50	51	52	52	52	52	50	52	50	53	52	52	52	42	42	40	40	40	39	38	38	38	36	37	36	37	II	62	75			
岬町 多奈川小島	62	62	62	62	63	63	63	62	62	61	62	61	61	60	58	59	59	59	49	49	49	49	48	48	48	47	45	45	46	46	46	I	57	70			
堺市 南区庭代台	47	36	46	40	28	35	35	34	35	39	37	37	39	42	41	35	32	32	34	24	29	24	26	26	27	28	9	23	21				I	57	70		
和泉市 和田町	-	-	21	34	-	30	30	33	35	37	35	36	38	39	39	34	28	32	32	11	29	21	24	26	30	26	18	19	19				II	62	75	定期 測定	
熊取町 希望が丘	-	47	42	48	38	32	30	31	36	37	37	37	-	28	31	29	26	32	34	21	26	23	22	24	29	20	20	18	20				I	57	70		
高石市 高砂2丁目地先	45	43	51	45	42	43	34	36	32	28	32	34	43	42	35	40	32	42	41	26	28	15	18	32	11	19	-	24	19			26	-	-	-		
忠岡町 新浜3丁目	55	53	57	55	55	53	52	53	52	51	53	54	52	50	45	47	47	47	46	32	34	25	33	39	30	20	-	24	-			-	II	62	75		
岸和田市 臨海町	55	55	54	57	58	54	55	54	55	53	53	52	48	49	49	47	44	45	46	33	34	34	29	31	32	31	33	27	30			28	II	62	75		
田尻町 りんくうポート南	57	54	52	55	54	54	56	53	54	55	55	52	55	53	50	49	49	49	49	42	38	37	41	41	40	39	37	38	38			39	II	62	75		
泉南市 りんくう南浜	56	53	54	59	58	58	59	57	58	57	56	51	58	57	53	51	53	51	47	38	34	41	41	40	39	40	36	37	37			43	II	62	75		
阪南市 箱作	53	52	52	56	55	54	56	52	53	54	54	49	55	53	54	49	51	50	42	38	40	41	41	39	40	36	35	36	35			40	I	57	70		

- 【注1】 「-」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが無かったことを示す。空白は測定していないことを示す。
- 【注2】 1994年度は、9月4日以降の測定結果である。
- 【注3】 定期測定の1回あたりの測定日数は1998年9月までは3日間/回、以降は7日間/回である。
- 【注4】 大阪市住之江区南港北及び貝塚市二色3丁目は、1998年12月から常時測定を実施している。
- 【注5】 1994年度から1997年度まで堺市は築港新町、高石市は高砂3丁目、岸和田市は地蔵浜町、和泉市は府中町、熊取町は1995年度まで野田、1997年度まで大久保で測定していた。
- 【注6】 定期測定の実施回数は、2002年度までは全地点で年4回、2003、2004年度は堺市庭代台、和泉市和田町、高石市高砂2丁目、熊取町希望が丘で年2回、その他の地点で年4回である。2005年度は全地点で年2回である。
2006年度は、堺市南区庭代台、高石市高砂2丁目、和泉市和田町、熊取町希望が丘で年1回、その他の地点で年2回である。
2007年度は、堺市南区庭代台、高石市高砂2丁目、和泉市和田町、熊取町希望が丘で年3回、その他の地点で年4回である。
2008年度は、全地点で年4回である。
2009年度は年3回、2010年度から2014年度までは、全地点で年2回である。
2015年度以降は、堺市南区庭代台、和泉市和田町、熊取町希望が丘で年1回、その他の地点は年2回である。
- 【注7】 2013年4月1日から航空機騒音の評価量は時間帯補正等価騒音レベルLdenに改正された。
- 【注8】 2016年度の堺市南区庭代台は、測定場所の庭代台中学校が工事中だったため近隣の御池台小学校で測定を実施した。
- 【注9】 田尻町りんくうポート南は、測定場所の吉見ポンプ場が工事中だったため、2022年度2回目、2023年度1回目の測定を近隣のふれ愛センター(田尻町 嘉祥寺)で実施した。
- 【注10】 2023年度の値は速報値である。

※環境基準について
 2013.3.31まで WECPNLの値で評価
 2013.4.1から Ldenの値で評価
 なお、環境基準は、地域類型によって異なる。
 類型Ⅰ：専ら住居の用に供される地域
 類型Ⅱ：Ⅰ以外の地域であって通常の生活を保全する必要がある地域

飛行経路・高度 観測結果

2022年10月分

観測断面	飛行高度(ft)		観測機数	観測年月日
	最高	最低		
大阪市 住之江区南港北	24,200	9,500	44	2022年10月5日(水) ～7日(金)

2022年12月分

観測断面	飛行高度(ft)		観測機数	観測年月日
	最高	最低		
貝塚市 二色3丁目(離陸機)	27,700	11,300	147	2022年12月1日(木) ～7日(水)
貝塚市 二色3丁目(着陸機)	10,700	8,600	8	

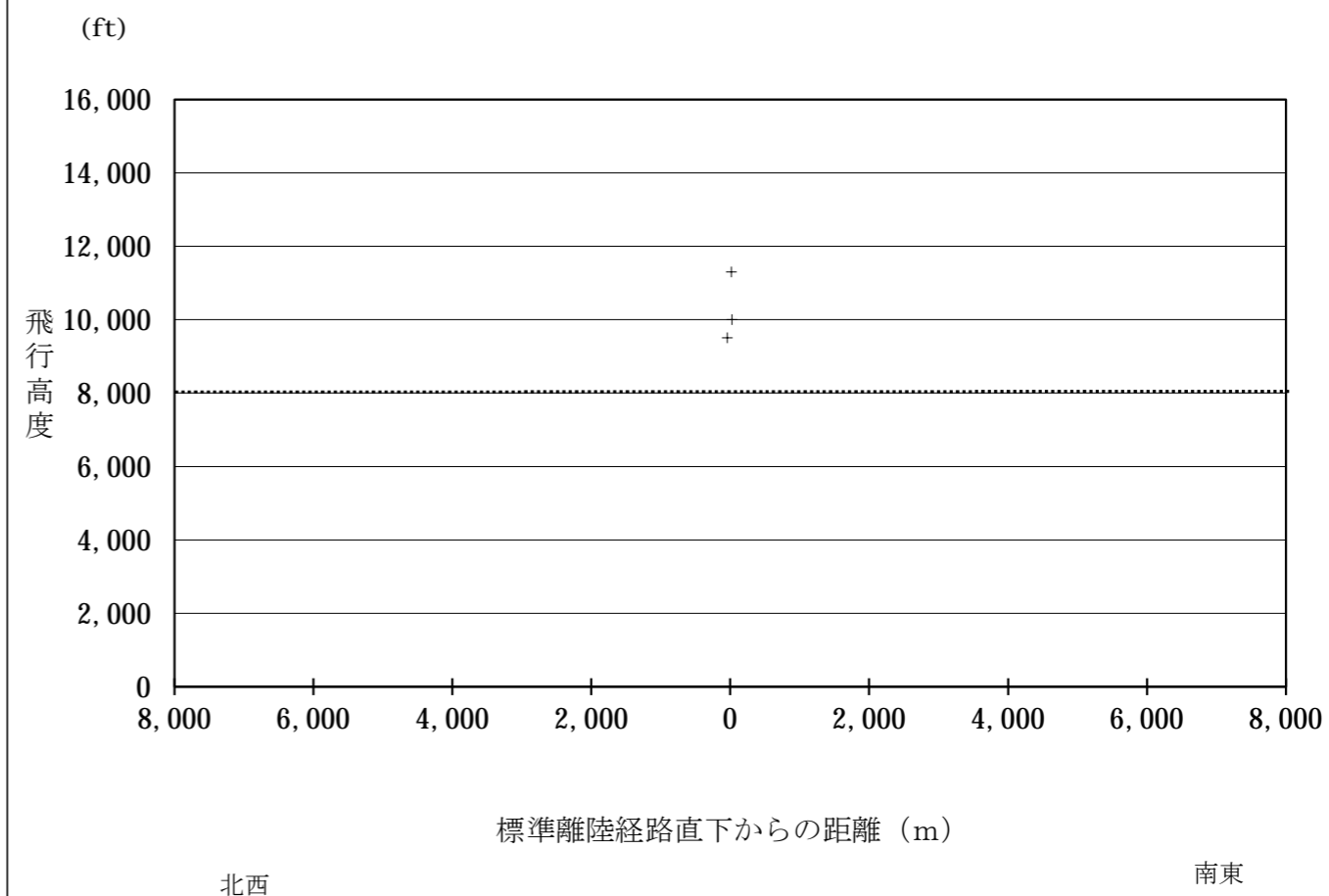
2023年6月分

観測断面	飛行高度(ft)		観測機数	観測年月日
	最高	最低		
貝塚市 二色3丁目(離陸機)	24,900	11,400	130	2023年6月1日(木) ～7日(水)
貝塚市 二色3丁目(着陸機)	10,600	9,900	2	

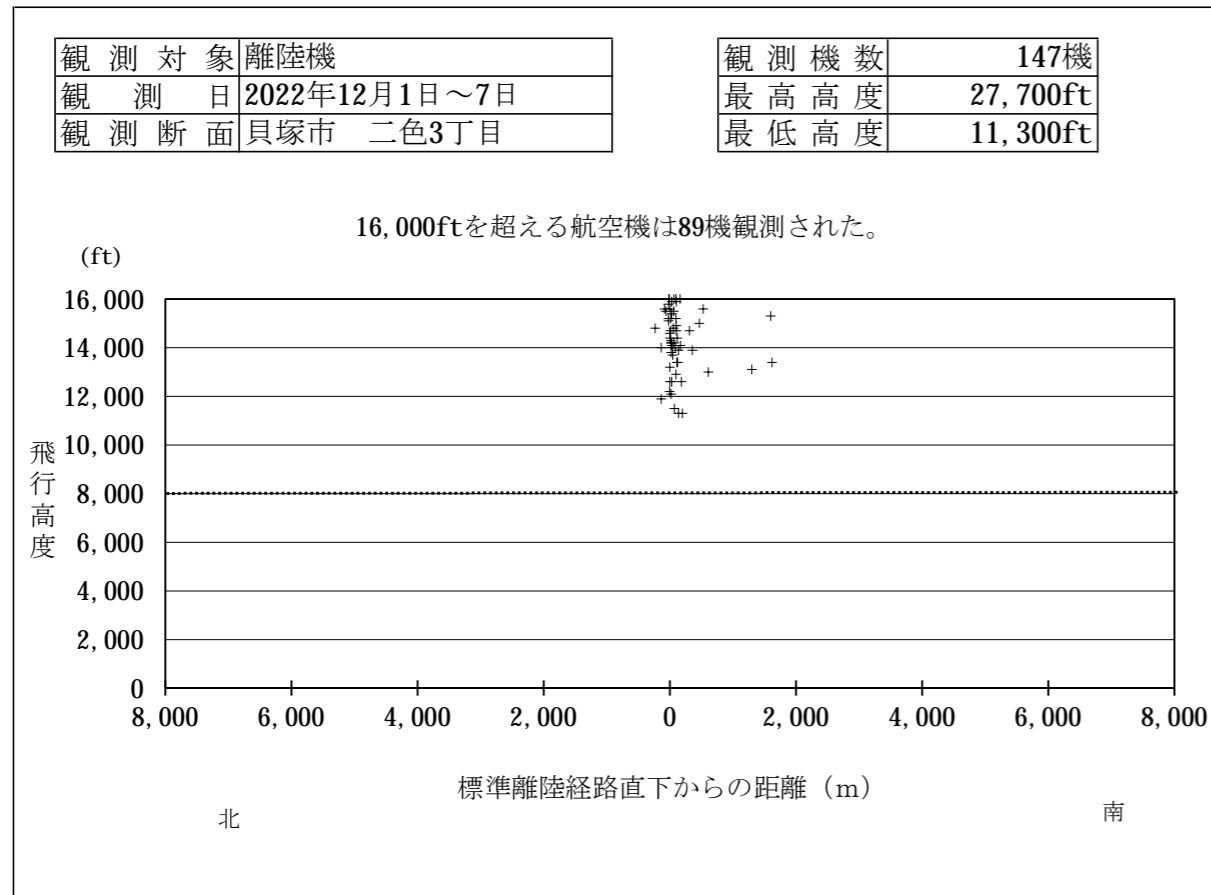
飛行経路・高度 観測結果(断面図)

観測対象	離陸機	観測機数	44機	
観測日	2022年10月5日～7日		最高高度	24,200ft
観測断面	大阪市 住之江区南港北		最低高度	9,500ft

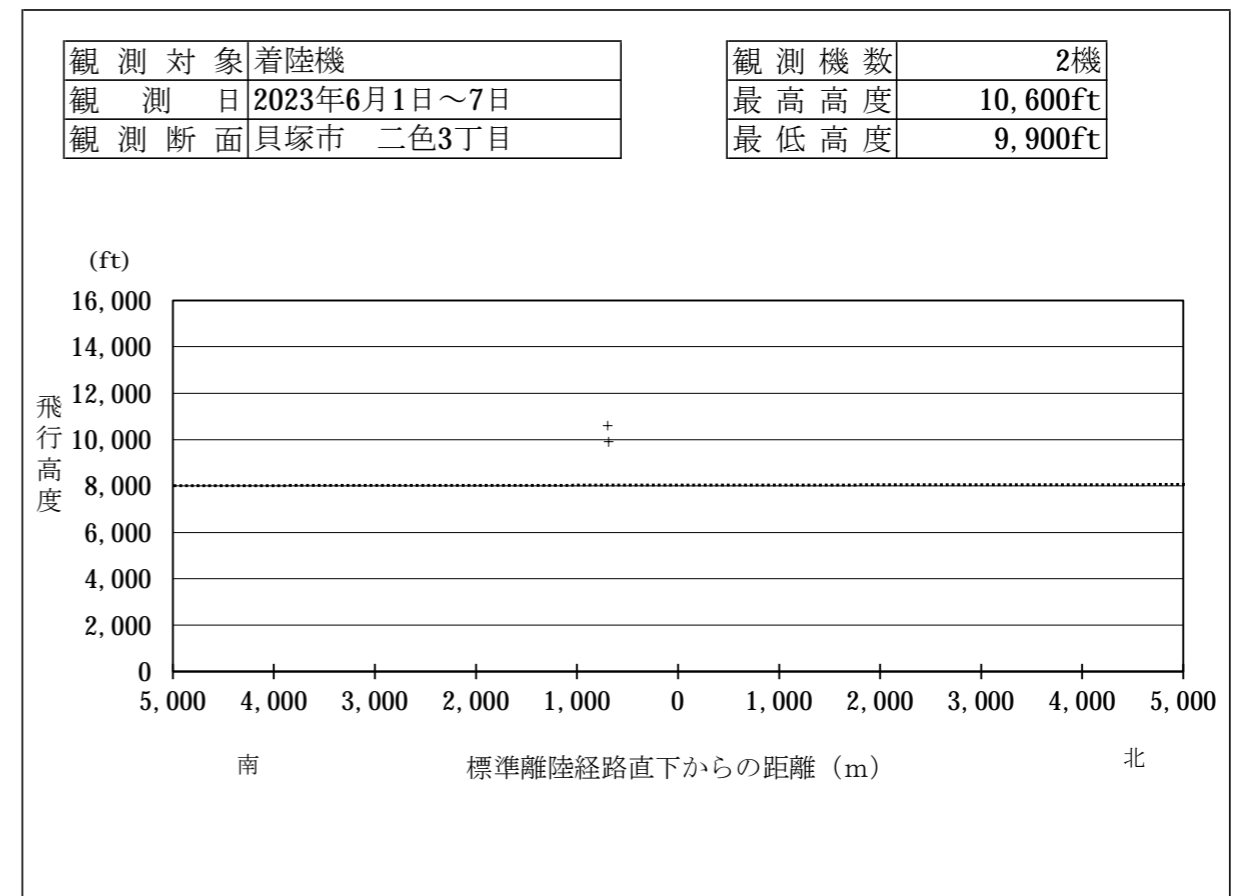
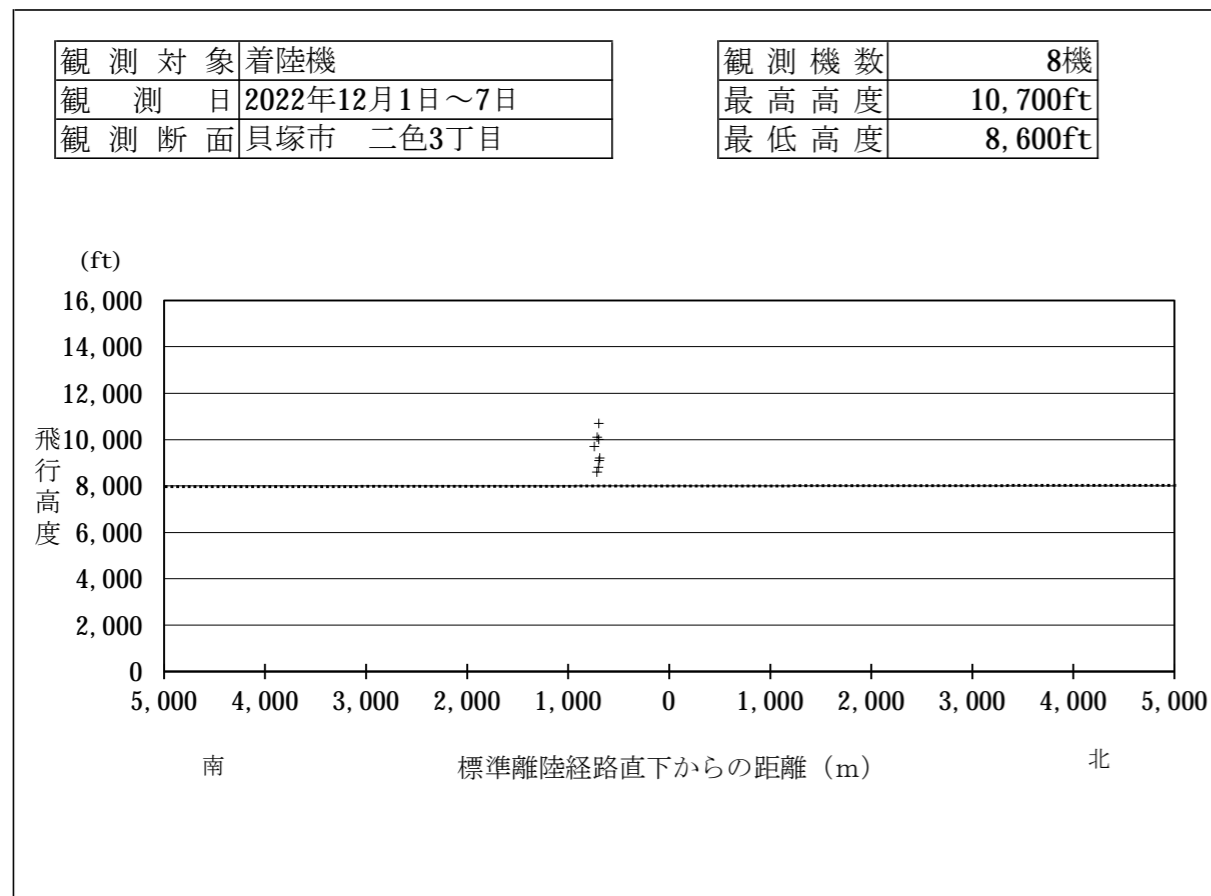
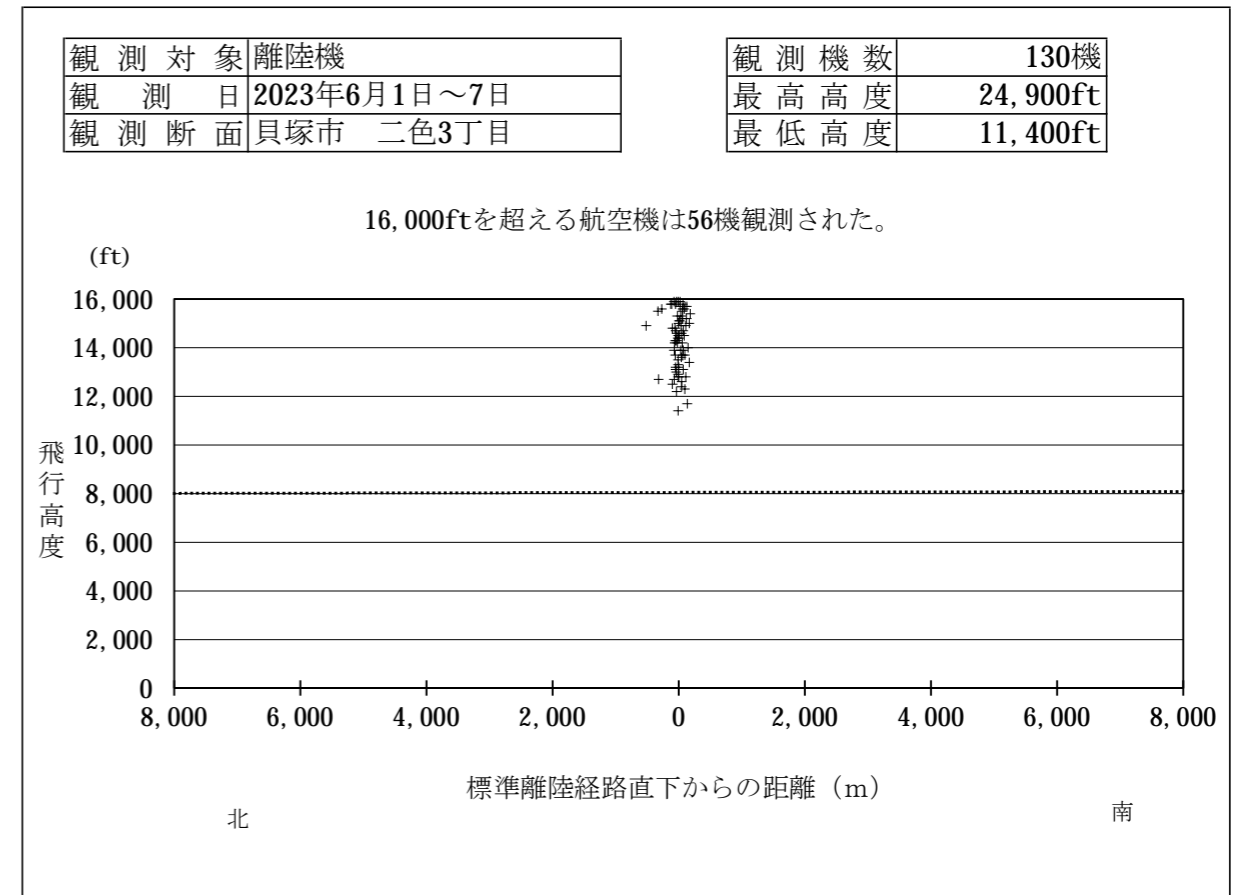
16,000ftを超える航空機は41機観測された。



飛行経路・高度 観測結果(断面図)



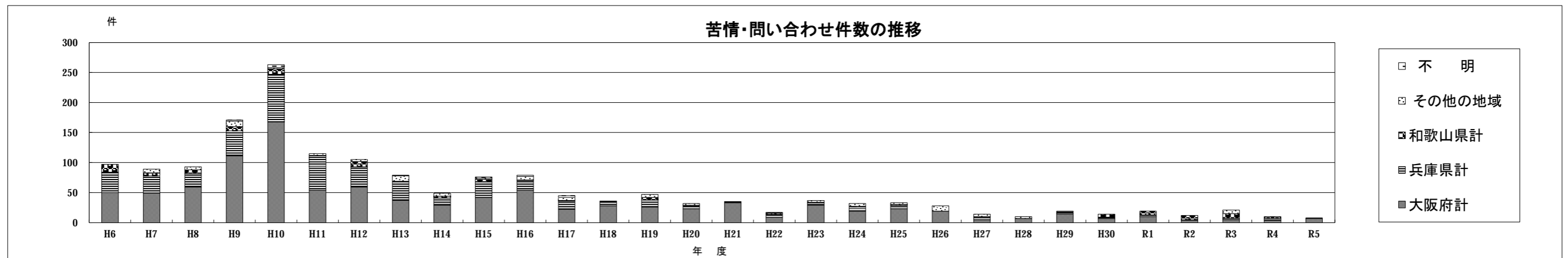
飛行経路・高度 観測結果(断面図)



航空機騒音に係る苦情・問い合わせ件数

区分 地域	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	累計	
	H6 年度	H7 年度	H8 年度	H9 年度	H10 年度	H11 年度	H12 年度	H13 年度	H14 年度	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度		
大阪府	大阪市*																1	4					1	2		2	1	2	1		14	
	堺市		1		6	6	2	4	5	3		7	2	1	1	1	14	1	1	2	4	2	1		1		2		1		68	
	高石市			2		4	1	2				1			2	1				2	1										16	
	忠岡町		1	1				1		1																					4	
	岸和田市	12	9	10	11	16		3	1	1	10	5	6	5	4		4		6	6	5	3	2	1	1						121	
	泉大津市	1		2	2	3								1			1		2		1		1								14	
	貝塚市	2	9	7	32	56	19	6	6	3	9	1	1	4	5	2	1		4	4	4	2			3	1			1	1	183	
	和泉市	2	2			1	1	5		1		2	2	2			1		1	1	1		1								22	
	熊取町		1		1	1	1	3	2	1							1		1	2												14
	泉佐野市	1	3	4	5	5		2				7	5	1	1	1	3	5		1	1	1	2		2	4	1	1			57	
	田尻町																	1			1											2
	泉南市	4	5	6	21	27	9	3	3	1		12	1	1	1	1	1	2		1		2		1	2	1	1			1	107	
	阪南市	7	5	2	7	21	7	11	12		1	2		4	1	1	2	1	4		4				1			1		1	95	
岬町	21	13	25	19	17	7	12		8	9	6	3	1	4	6	1	2	1		1	1		1					1		159		
その他				7	11	6	8	7	11	6	13	6	8	7	8	1	2	4	2	5	1		2	2	1	4	1			7	130	
大阪府計	50	49	59	111	168	54	59	37	29	42	54	22	28	26	23	33	9	29	19	23	19	5	7	14	7	10	4	5	4	7	1,006	
兵庫県	神戸・明石	11	6	4	10	8	4		2	1	3	4	1	2	1		2	1	3	1						2			1	1	68	
	淡路島地区	22	23	19	29	67	53	31	30	10	21	10	11	5	8	5	1	2	2	3	3		4		1	2		1	2	2	367	
	その他	1			3	4		3		1	2	2	2		3		1	1	1	1	2		1		2		1				31	
兵庫県計	34	29	23	42	79	57	34	32	12	26	16	14	7	12	5	2	5	4	7	6		5		3	2	3	1	2	3	1	466	
和歌山県	和歌山市	12	3	5	3	2		4		3	3	1		3	1		2	1		1					5	6	7	8	3		73	
	その他	1	2	1	4	7	1	5			1		1		1					1											25	
和歌山県計	13	5	6	7	9	1	9	0	3	4	1	1		4	1		2	1	1	1					5	6	7	8	3	0	98	
その他の地域		6	5	9	2	3	3	9	5	2	6	5	1	5	3		1	3	5	3	9	4	3	1						6	99	
不明				2	5			1	1	2	2	3																			17	
合計	97	89	93	171	263	115	105	79	50	76	79	45	36	47	32	35	17	37	32	33	28	14	10	19	14	19	12	21	10	8	1,686	

※ 大阪市の内訳については、H21年度より。(H21は「0」)



「環境面の特別の配慮」の運輸省（現国土交通省）からの回答 [平成10年4月27日]		措 置 状 況														
項 目	内 容 (要 約)															
1. 大阪府南部の居住地域において騒音に関する苦情が生じている現状を踏まえ、将来予測をも考慮に入れた騒音影響を軽減するための措置	○ ディレイドフラップ進入方式の導入による航空機騒音の低減	○ ディレイドフラップ進入方式に加え、ギアダウン（車輪を降ろす）位置をAIP（航空路誌）に規定する措置が導入され、平成13年3月22日から運用開始 ○ ギアダウン対策に係る騒音軽減調査を平成12年12月から平成14年2月まで実施 → ギアアップ機は、ギアダウン機と比較してピークレベルが約2dB低いことを確認 ○ AOC（関西国際空港航空会社運営協議会）の運航専門分科会において、確実な実施を要請（平成14年10月）														
2. 早朝・深夜用経路の運用時間帯（午後11時～翌朝午前6時）をさらに拡大するための措置	○ 当面、航空交通や気象状態の状況を勘案しつつ、原則として6時台の後半に昼間用経路に切り替えるよう努力	○ 昼間用経路への切り替え 午前6時30分以降の離陸機から適用 ※深夜・早朝（23:00～6:00）便は海上のみの経路を使用														
3. 新飛行経路の具体的な運用方法について、航空需要の動向や環境影響等を考慮した措置	○ 河和ルートは、二段階に分け移行。当初は北海道・東北便 ○ 北米西部・ハワイ方面の便は、二段階目で移行。二段階目への時期は、航空交通の混雑状況等を踏まえ、地元と協議	○ 方面別適用経路の一部変更 第5回協議会において、大津ルートに北海道便の一部、河和ルートに羽田便が新たに飛行することが了承され、平成13年11月29日から運用を開始。 ○ 羽田便等飛行経路の一部変更 第12回協議会において、午後9～11時到着の羽田発便が河和ルートとほぼ同様のルートを逆方向に飛行することが了承され、平成19年9月27日から運用を開始。 ※いずれの経路変更によっても航空機騒音及び飛行経路・高度に特段の問題は生じていない。														
4. 大阪府域の陸地上空に入る際の最低飛行高度や飛行経路遵守に関する明確な担保措置	○ 航空機が陸地上空に入る地点の高度の、AIP（航空路誌）による周知 ○ 安全確保のため緊急やむを得ない場合を除き、天候等の条件が悪い場合でも最低8,000フィート以上の高度を担保 ○ 最低飛行高度や飛行経路の遵守は環境監視体制の強化や航空会社への指導により担保	○ 平成10年10月8日にAIP記載 ○ AOC等を通じ、航空会社に対し高度・経路の遵守についての周知徹底を適宜要請 ※直近：令和4年11月に国交省・関西エアポート(株)がAOCを通じて航空会社にAIP遵守を要請 ○ 高度観測の結果、すべて8,000フィート以上（下表参照） ○ 経路逸脱件数 ・新飛行経路運用後(平成10年12月3日～令和5年6月30日)の累計件数：計 3,147件 (悪天候回避 2,806件、管制間隔確保等 56件、急患の発生・ダイバート等 107件、旋回操作の遅れ 80件、パイロット起因 82件、その他 16件) ※直近1年間(令和4年7月1日～令和5年6月30日)の件数 ()内は前年(令和3年7月1日～令和4年6月30日) 悪天候回避 523件(271件) 管制間隔確保等の安全確保 8件(19件) 急患の発生・ダイバート等 6件(13件) 旋回操作の遅れ 0件(0件) パイロットに起因 0件(5件) その他 13件(3件) → 計 550件(311件) ○ 国交省・関西エアポート(株)が経路逸脱の情報と問題認識を共有するための調整会議を設置（令和3年6月～毎月）														
5. 航空機騒音や飛行経路・高度等の苦情処理体制について、国交省と関西国際空港株式会社との責任の明確化と適切な役割分担に基づく強化措置	○ 関空会社⇒・住民苦情の窓口 ・航空会社に対する遵守等の要請 ○ 国交省 ⇒・航空会社に対する遵守等の指導 ・悪質と認められる場合は、事実の公表	○ 苦情・問合せの対応体制：24時間365日に電話・メールで受付。 問合せ窓口は、関西エアポート(株)ホームページに掲載 ○ 高度違反・経路逸脱の場合の対応 → 苦情の有無に係わらず、関係自治体に連絡 ※ 関空会社の役割 ⇒ 新関西国際空港(株)（平成24年4月～） ⇒ 関西エアポート(株)（平成28年4月～）														
6. 航空機騒音（ピーク騒音レベルを含む）や飛行経路・高度等の迅速な情報提供などによる環境監視体制の強化措置	○ 陸地上空に入る地点における、常時測定及び定期的な飛行高度の観測 ○ 測定結果の情報提供が迅速に行える体制の検討 ○ 高度違反、経路逸脱があった場合の情報提供及び原因究明	○ 環境監視強化の状況（平成10年12月～） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>方 法</th> <th>強 化 措 置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">航 空 機 騒 音</td> <td>常時測定</td> <td rowspan="2">大阪市南港野鳥園及び貝塚市市民の森に新たに常時測定局を設置（計5局） 測定期間：3日間→7日間</td> </tr> <tr> <td>定点測定</td> </tr> <tr> <td>飛行経路・高度</td> <td>定点観測</td> <td>大阪市及び貝塚市を新たに追加（計5地点）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">情 報 提 供</td> <td>リアルタイム情報</td> <td rowspan="2">地元自治体へのデータ提供（航空機騒音のピークレベル、測定時刻、暗騒音等） 航空機騒音測定結果等(平成11年4月1日～) 騒音瞬時値(令和4年3月～)</td> </tr> <tr> <td>ホームページ</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	方 法	強 化 措 置	航 空 機 騒 音	常時測定	大阪市南港野鳥園及び貝塚市市民の森に新たに常時測定局を設置（計5局） 測定期間：3日間→7日間	定点測定	飛行経路・高度	定点観測	大阪市及び貝塚市を新たに追加（計5地点）	情 報 提 供	リアルタイム情報	地元自治体へのデータ提供（航空機騒音のピークレベル、測定時刻、暗騒音等） 航空機騒音測定結果等(平成11年4月1日～) 騒音瞬時値(令和4年3月～)	ホームページ
項 目	方 法	強 化 措 置														
航 空 機 騒 音	常時測定	大阪市南港野鳥園及び貝塚市市民の森に新たに常時測定局を設置（計5局） 測定期間：3日間→7日間														
	定点測定															
飛行経路・高度	定点観測	大阪市及び貝塚市を新たに追加（計5地点）														
情 報 提 供	リアルタイム情報	地元自治体へのデータ提供（航空機騒音のピークレベル、測定時刻、暗騒音等） 航空機騒音測定結果等(平成11年4月1日～) 騒音瞬時値(令和4年3月～)														
	ホームページ															

■新飛行経路運用後の航空機騒音等測定結果について

○新経路運用後の航空機騒音や飛行高度について、これまでのデータを見る限り、特に問題となるケースは見受けられない。	【飛行高度】 (単位：フィート)		(注) 関空会社等の観測結果。観測期間：平成10年12月～令和5年6月 観測実施：平成10年12月～平成14年度末 3,6,9,12月に実施 平成15年度～6月,12月に実施 (ただし、平成29年度以降の大阪府は10月に実施) 大阪市(出発機)は平成21年12月から28年度まで休止 貝塚市(到着機)は平成19年12月から観測開始	
	測定地点	最低飛行高度		
○岬町については、今後とも航空機騒音の監視結果を注視する必要がある。	大阪市(出発機)	9,000		
	貝塚市(出発機)	9,900		
	貝塚市(到着機)	8,000		
	【航空機騒音】		(注) 関空会社等の測定結果で平均値、貝塚市には沖合通過機のデータも含まれる 測定期間：平成10年12月～令和5年6月 新環境基準(平成26年4月1日から) : Lden 57(単位：デシベル) 旧環境基準(平成26年3月末まで) : WECPNL 70	
	測定結果			
	地点	Lden		WECPNL
	大阪市	37未満		50未満
	貝塚市	37未満～41		50未満～57
	岬町	45～49	57～63	

第 1 回 新飛行経路案に係る環境検証委員会 開催結果概要

■日時：令和5年8月3日（木）13時30分から15時30分まで

■場所：兵庫県立ひょうご女性交流館 5階 会議室 501

■会議の内容：

○3府県代表者から開会挨拶

○座長の選任（加藤委員を選出）

○議事

- 国土交通省から「(1) 飛行経路の見直しに係る検討結果」、事務局から「(2) 騒音の現状」、事務局及び関西エアポート社から「(3) 検証作業の進め方」について、資料に基づき説明を行い、委員より質問及び意見が述べられた。
- 今回の議論を踏まえ、新飛行経路案における騒音予測作業を関西エアポート社にて行うこととなった。

（委員の主な意見）

- 空港機能の強化は必要だが、住民の生活環境を守ることも重要。
- 騒音予測は、複数のパターンを考慮して実施すべき。
- 新ルート運用後、騒音の監視体制をしっかりと構築すべき。

以上

新飛行経路案に係る環境検証委員会

委員名簿

- 入野 俊夫 和歌山大学システム工学部 教授
- ◎ 加藤 恵正 兵庫県立大学 名誉教授/特任教授
- 桑野 園子 大阪大学 名誉教授
- 住友 聰一 公益財団法人ひょうご環境創造協会 環境技術専門員
- 銭亀 隆英 一般財団法人航空機安全運航支援センター 専務理事
- 轟 朝幸 日本大学理工学部 教授

(五十音順、敬称略、◎：座長)